

令和7年度第1回はじめてのスマート農業機械操作研修会

実施要領

1 目 的

担い手の減少に伴い、今後、地域で必要とされる農作業について、副業を志す農作業未経験者などを対象に、スマート農業機械の操作研修を実施し、オペレータ等として地域農業を支える人材を育成する。

2 研修日時

令和7年7月12日（土曜日）8：45～12：00

（雨天の場合、令和7年7月19日（土曜日）同時刻に延期）

3 研修内容

ドローンを操作し、農薬散布作業や農地をセンシングできるオペレータを育成するため、ドローン作業に必要な知識（農薬取締法、航空法など）やドローンの操作などの実技を修得する。

4 研修場所

岐阜大学応用生物学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター 管理棟 3階教室 および柳戸農場

（岐阜県岐阜市柳戸1-1）

※詳細は別紙のとおり

5 研修受講対象者及び定員

農業に興味のある農作業未経験者、大学生、農業分野に興味のあるドローン関係事業者 等
定員20名（先着順）

6 研修日程及び内容

午前 の部	8	9				1 0				1 1			
	45	00	15	30	45	00	15	30	45	00	15	30	45
A 班	【オリエン テーリング】	【講義】 航空法、日常点検等 について (東海スカイテック㈱)			【講義】 農薬取締法等 について (病虫害防除 所)		休憩	【実習】 農業用ドローン、センシングドローンの飛行につ いて (東海スカイテック㈱)					
B 班		【実習】 農業用ドローン、センシングドローンの飛行につ いて (東海スカイテック㈱)						休憩	【講義】 航空法、日常点検等 について (東海スカイテック㈱)		【講義】 農薬取締法等 について (病虫害防除 所)		

※研修は2班に分かれて実施（各班10名）

7 その他

- ・雨天順延の場合は、開催日前日の正午までにメールにて連絡します。
- ・報道機関の取材があった際は、写真撮影等ご協力をお願いします。

8 今後の予定（内容は変更となる場合があります）

○第2回『トラクター』技術研修【10月】

- ・目的：トラクターを操作し、耕起作業や畝立て作業ができるオペレータを育成。
- ・場所：スマート農業推進センター実習農場（海津市）
- ・内容：直進アシストトラクターによる麦の耕起、播種作業の実技研修
必要知識（安全管理、日常点検など）の座学

○第3回『リモコン草刈機』技術研修【11月】

- ・目的：リモコン草刈機やトラクターを操作し、畦畔の除草や田畑の耕起作業ができるオペレータを育成。
- ・場所：現地ほ場（中山間地域の未耕作農地等（調整中））
- ・内容：中山間地域の課題となる畦畔管理と農地保全作業の実技研修
必要な知識（安全管理、日常点検など）の座学

【本研修で操作体験を行うスマート農業機械】

名称	写真	機器の説明
農業用ドローン		・タンクを搭載し、農薬、肥料等を空中から散布することができる。 ・農薬、肥料の散布作業時間を削減できる。
センシングドローン		・マルチスペクトルカメラを搭載し、上空から撮影を行うことができる。 ・撮影データから作物の生育状況を把握でき、生育状況に応じた可変施肥が可能。

○開催場所詳細

